

第6学年1組 総合的な学習の時間 指導案

指導者 教諭 木村 美名子

場 所 6年1組教室

1 単元名 山元町の復興 ～ぼくらを育てたこの町に～

2 単元の目標

- ・山元町の震災復興の計画や現状、復興のために尽力している人々について学習する。
- ・復興に向け「自分にできること」を考え学習し、山元町の様子について知り得たことや実践したことを多くの人に知ってもらう。

3 単元について

(1) 教材観

2011年3月11日、日本を襲った東日本大震災は未曾有の被害をもたらし、未だにその復興は道半ばである。さらに近い将来、直下型地震や火山噴火などの自然災害の発生も懸念されており、私たちは防災についての知識を身につけ、その対策を講じていかなければならない状況にある。そこで本校では、総合的な学習の時間や生活科の一部を防災・復興教育にあて、全校で取り組んでいる。

本単元では、震災が日本にもたらした様々な課題を解決するために、町の現状を知り、自分たちにできることは何かを考える。町内の見学や調べ学習などの活動を通して、社会の問題を身近なものとしてとらえ、その解決にむけて主体的に行動しようとする態度を育成していきたい。特に、自分なりのものの見方や考え方が確立される中学生に向かうこの時期に、震災で生じた町の課題に向き合わせることで、自分なりの思いや願いをもち、それを表現したり発信したりすることの大切さを実感してほしいと考え、本単元を設定した。

(2) 児童の実態(男子6名、女子9名、計15名)

男女の仲が良く、休み時間には一緒に遊ぶ姿が見られる。話し合いの活動では、一人一人が自分の考えをしっかりと持ち、発表することができる。様々な学習に対する集中力があり、生活面においてはみんなで協力して問題を解決しようとする姿勢が感じられる。リーダー性のある児童が多く、より良い解決に向かうことが多い反面、発言力の強い児童の意見に流されてしまうこともある。

1年生時に東日本大震災を経験しており、津波の被害を受け家が全半壊したり、長い避難所生活を送ったりした児童がいる。震災から4年が経過し、精神状態は安定しており、心の傷が日常生活に影響している様子は見られない。しかし、本単元を学習する中で、当時の情報を振り返ったり、復興の様子を見学したりする場面もあるので、児童の心情に十分配慮して指導する必要がある。

児童はこれまでの3年間で、「自らの身を守り乗り切る力」や「知識を備え行動する力」を身につけるために防災について学習してきている。3年生では校内や地域の「防災マップ」「防災カルタ」作りを、4・5年生では地震や津波の危険性についての理解、「わが家の防災覚え書き」作りなどを経験している。

6年生では、これまでの経験を生かし、「地域の安全に貢献する心」を育てるために、山元町の復興の現状について知り、自分たちに何ができるのかを常に考えながら学習に取り組ませたい。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、次のようなことに留意して取り組む。

1点目は、山元町の復興の現状を知るための、外部講師の活用である。山元町役場震災復興企画課の方の講話を聞いたり、新山下駅周辺や災害公営住宅を見学したりする。また、3年生時に種付けをしたクロマツを、林野庁の協力を得て山元町のかさ上げした土地に植樹する活動を行う。さらに、復興のために県外から起業した農業生産法人(株)GRAのいちご生産について、農場の見学や講話を聞く活動を設定する。資料だけでなく、様々な思いをもって復興に取り組む方々の現場の声を聞くことにより、自分も町民の一人であるという自覚を育てたい。

2点目は、学習計画表の活用である。児童用学習計画表を、児童が見通しをもって学習を進めるためのツールとすると共に、評価や振り返りを工夫することで、自分の成長や学習の連続性を実感させ、学習の足跡としても活用したい。また、掲示用として単元の学習を振り返ることのできる単元表を作成する。写真や児童のつぶやきを活動の流れがわかるように掲示していく。

3点目は、言語活動の充実である。学習過程の中に、根拠を大切に書く活動や発表する場面を多く取り入れるよう心がけたい。また、授業の終末ではワークシートに学習感想を書き、それを互いに共有する場面を設けたい。そしてそれを積み重ねることにより、自分たちが同じ目的を持って学習しているという意欲付けと自信につながるものになるようにしていきたい。

4点目は、他教科との関連である。特に国語科では「町の幸福論」という説明文を読み取りながら、町のコミュニティデザインを考える学習を行う。同時期に町づくりについての情報を収集・整理したり、それをプレゼンテーションしたりする活動を行うことになるので、「山元町の復興」と関連させて進めていきたいと考える。また、情報を活用するときに気を付けることとして、基本的な引用の仕方、様々なメディアの使い方と信用性、著作権と肖像権など、情報モラルについてもしっかり指導したいと思う。

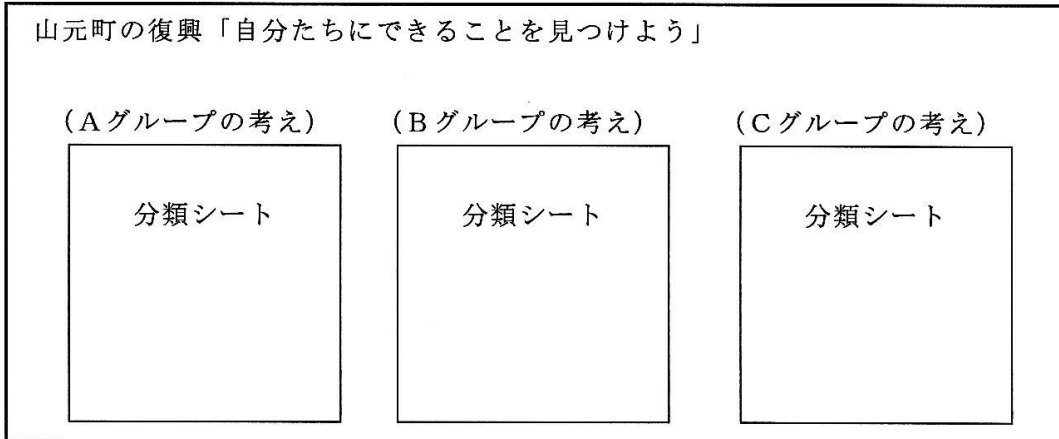
4 指導と評価の計画【別紙1】

5 本時の指導

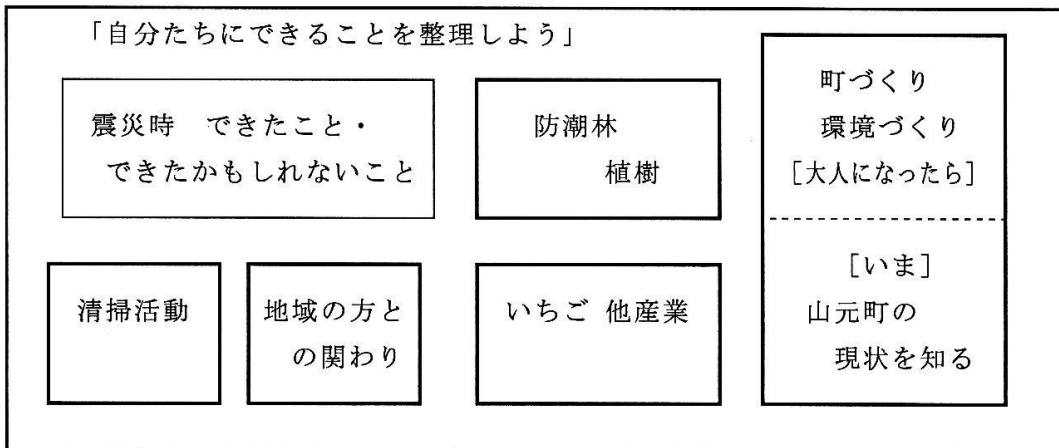
- | | |
|-----------|---|
| (1) 小単元名 | 自分たちにできることを見つけよう |
| (2) 本時の目標 | 復興に向けて「自分たちにできること」を発表し合い、単元を通して追求したい課題を考える。 |
| (3) 準備物 | 【教師】付箋紙、グループ用分類シート(模造紙)、画用紙、
学習計画表、はさみ、マグネット、ホワイトボード
【児童】筆記用具、総合ファイル、ワークシート |
| (4) 学習過程 | 【別紙2】 |
| (5) 評価 | |
- ・ グループや全体の話し合いにおいて、自分の考えを発表する。
【よりよくまとめ表現する力】
 - ・ 復興に向けてできることを整理し、主体的に課題を見つけることができる。
【問題を見つめ課題を見つける力】

(6) 板書計画

[板書1]



[板書2]



[別紙1]

4 指導と評価の計画 (本時2/22)

小单元名	時	学習活動	主な評価規準と評価方法
◆ オリエンテーション	1	・昨年度までの防災・復興に関する学習を振り返る。	・活動を振り返り、自分たちにできることは何かを考えようとしている。 【関心・意欲・態度】(行動観察)
	1 本時	・山元町のために「自分たちにできること」を発表し合い、これからできることについて話し合う。	・復興に向けてできることを整理し、主体的に課題を見つけることができる。 【問題を見つめ課題を見つける力】(行動観察・ワークシート)
I 山元町の復興の現状や計画について学習しよう	2	・山元町の復興の現状や計画について、いろいろな方法で調べる。	・インターネットや資料を使い、復興の様子について情報を集めることができる。
	3	・山元町震災復興企画課の方の講話を聞いたり、新山下駅周辺を見学したりする。	【課題を追求し実践する力】(行動観察・ワークシート)
	1	・防潮林予定地にクロマツの植樹をする。	・復興の様子について知り、問題意識をもって主体的に活動しようとしている。 【関心・意欲・態度】(行動観察)
II いちご農家について学習しよう	1	・農業生産法人株式会社GRAの方の講話を聞く。	・いちご栽培の新しい取り組みについて興味をもって見学したり質問したりしようとしている。
	2	・GRA施設を見学し、いちごの新しい栽培方法について知る。	【関心・意欲・態度】(行動観察)
III 学校間交流をしよう	3	・町の復興やこれまでの学習についてまとめる。	・学習したことをわかりやすくまとめ、自分の考えを発表することができる。
	1	・会津若松市立東山小学校を訪れ、山元町の復興の様子や学習した内容について発表する。	【よりよくまとめ表現する力】(制作物・行動観察)
IV 復興事業の現場を見学しよう	2	・道路や鉄道など、工事中の現場などを見学する。 (重機乗車体験やJR常磐線の線路の見学など)	・復興現場の見学を通して、町の住民の願いや働く方の気持ちについて気づくことができる。 【問題を見つめ課題を見つける力】(行動観察・ワークシート)
V 山元町の復興について学習したことを発表しよう	5	・学習したことを、プレゼンテーションにまとめる。 ・関係者、保護者、5年生児童に対して、発表会を実施する。	・学習したことをわかりやすくまとめ、自分の考えを発表することができる。 【よりよくまとめ表現する力】(制作物・行動観察)

[別紙2]

(4) 学習過程

段階	主な学習活動 ○予想される児童の反応	教師の支援【評価】(評価方法)
導入 (5分)	<p>1 前時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山元町の復興に関して、「自分たちができること」を考えた活動を振り返る。 友達の学習感想を聞く。 <p>2 本時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「自分たちができること」を出し合い、いまできることを見つけよう。</p> </div> <p>○前の時間に考えたことを発表するぞ。 ○友達はどうな考えをもっているのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「自分たちができること」を書いた付箋紙とシート、前時のワークシートを見ながら確認させる。 前時の学習感想を、数名分紹介する。 本時のめあてをワークシートに記入することで、目的意識をもって本時の学習に取り組めるようにする。 <p>【関心をもって学習に取り組んでいる】 (行動観察)</p>
展開 (35分)	<p>3 グループの中で「自分たちができること」を発表し合い、キーワードごとに分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時で考えた「自分たちができること」について、一人ずつ発表する。 付箋紙に書き出したキーワードの共通点を見つけ、話し合いながら模造紙の分類シートに貼り直してまとめる。 <p>○わたしと同じ考えの人がいるなあ。 ○子どもだけではできそうにないなあ。</p> <p>4 他のグループの考えを知り、気づいたことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いまできること」「大人になってできること」などに分類し、課題を絞っていく。 <p>○防潮堤や防潮林が必要だ。 ○いちごやりんごを使ったお土産を考えよう。 ○町の避難訓練はやっぱり大切だなあ。 ○山元町の現状をたくさんの人に知ってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人の発表において、そのキーワードを選んだ根拠や自分の体験と結びつけて発表すると、相手にわかりやすいことを伝える。 後から発表する児童は、友達との共通点を示しながら自分の考えを述べる話型で話すようにさせる。 <p>【自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる】(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒板に掲示した他のグループの分類シートを互いに見合う時間を確保し、自分の意見がもてるようにする。 共通点ごとに、分類シートから切り取って黒板にまとめて掲示する。 <p>【友達の考えのよさに気づき、共通点を探ることができる。】(発表・つぶやき)</p>
結末 (5分)	<p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに、学習感想を書く。 <p>○避難所生活での経験を生かして考えていきたい。 ○いちご農家について調べてみたいな。</p> <p>・次時は、山元町の復興の現状や計画について調べることを、学習計画表を見ながら確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに、自分の考えが深まったことや変わったこと、次につながることを書かせ、達成感をもたせる。 <p>【復興に向け、できることは何か見つけることができる。】(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習計画表で、次時は山元町の復興の現状や計画について調べることを確認し、意欲を高める。

山元町の復興～ほくらを育てたこの町に～

山元町の現状を知ろう

○震災復興企画課の方の講話 (菅野さん)

菅野さんの講話を聞いて山元町の復興状況と、震災の被害人口、復興、行政、気候などを改めて知ることができました。震災の被害や死亡者など私の知らないことなど多くありました。今の山元町は復興に向かって多くの人が関わって工事をしている、すごいなと思いました。山元町に公園が出来るので、私はとてもうれしいなと思いました。そして、スーパーが出来て、お買物が出来るので、なり町まで行かなくても良いし、お年寄りも、すぐにお買物が出来るので、お年寄りに対して、優しいなと思いました。私は、山下駅周辺にスーパーなど、小学校ができるので、もっと多くの人がこの山元町に来てもらって、活気のある町になってほしいなと思います。

○新山下駅周辺の見学

新山下駅周辺を見学して、私がおどろいたことがあります。まずは、道路です。歩行者と自転車がぶつかりないように分けられています。山元町民のことを大切にしているんだなと思います。次に、新山下駅周辺の工事に関わっている方々の人数です。バスに乗って見学していると、菅野さんが「工事をやっている人は1000人ぐらいと言っていたので、とてもビックリしました。新山下駅周辺を造るときにはこの約1000人の方への感謝を忘れずに利用したいです。」

○防潮林 植樹活動

3年生の時に植えた松の木が大きくなっていてうれしかったです。私は初めて防潮林植樹をしました。この植樹で山元町の復興のお手伝いをすることが出来たのではないかと良いと思います。大きいスリッポンを使って少し大変でしたが、あの東日本大震災のようにならないうまくいきました。この松が山元町を盛り上げてほしいです。

○学習感想

今日、役場の方の菅野さんのお話しと新山下駅周辺の見学と防潮林植樹をして、私は役場の方はすごく所見思いなんだなと思いました。公営住宅に住む方に、山下駅周辺に希望するお城病院周辺か、坂元駅周辺に希望するお城病院周辺に造る建てる物や建設は町民の方に意見を聞いて造っているの、利用する所見によって使いやすくないかなどと思いました。

私はこの山元町に生まれてきたことに感謝です。この山元町の復興のためには出来ることを一つでも多くやっていきたいです。